



2024年度 年末手当 会社回答書の誤魔化し！

「コロナ前には戻らない」

と言ったのに！

2024年度年末手当は、会社より「2.9ヵ月」が示されましたが、現場認識とは大きくかけ離れた回答でした。

回答に際して発出された「(会社) 回答書」を読み解き、書かれている内容の「誤魔化し」を明らかにしていきます。



定期収入は依然として

コロナ前の8割程度に止まっている…。

コロナ前との比較では約94%の水準。

「コロナ前の水準には戻らない」と言ったのに比較に使う経営陣。施策の失敗を経営陣自らが回答書を通じて露呈しているものだ！

コロナ禍を経て、生活様式や働き方の変更、さらには人口減少も相まって「(定期収入は) コロナ前の水準には戻らない」と述べていたのは経営陣であり、誰もが認識しています。

施策で推進してきた「オフピーク定期券」も発売が伸び悩んでいます。さらに、割引率も高いため収入の減少は目に見えています。以上のことから、もう一段の努力の必要を謳い、年末手当回答に反映させた誤魔化しだ！



もう一段の努力を求めるのは、現場でなくて経営陣では！現場努力への還元も乏しく、求めることは本末転倒だよね。